

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

平成26年 6月 日

兵庫県知事殿

提出者

住所 兵庫県宝塚市向月町19番5号

氏名 医療法人 尚和会 宝塚第一病院  
院長 那須 範満

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0797-84-8811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	医療法人 尚和会 宝塚第一病院
事業場の所在地	兵庫県宝塚市向月町19番5号
計画期間	平成26年4月～平成27年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	7310 病院
②事業の規模	病床数 211床 (平成25年度末時点)
③従業員数	医師数 21人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 施設管理者－廃棄物管理責任者 ↓ 廃棄物管理担当者－委託業者 ↓ 部署取扱責任者・院内感染対策委員 ↓ 医療従事者・施設内清掃業者			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 25 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物（別紙のとおり）	
	排 出 量	54.636 t	t
	（これまでに実施した取組） 汚染物が付着した紙おむつについては、院内感染防止対策マニュアルの「感染症ごとの紙おむつの取扱い」に従って処理する。 使用予定の医療器材（注射針等）などが未使用のまま廃棄されるように努める。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物（別紙のとおり）	
	排 出 量	45.000 t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も現状維持とする。		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 感染性廃棄物の判断を適確に行うことで減量に努める。 部署内で具体的事例について教育を行う。（分別表の再確認等も） 随時、部署取扱責任者が廃棄物の確認を行い、注意を促す。 非感染性廃棄物を感染性廃棄物として扱った事例を各部署へ情報提供するなど注意を喚起する。 月間の排出量（大体の）を記録し部署内掲示等を行う。		
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 今後も現状維持とする。		

## (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 25 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物（別紙のとおり）	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 感染性産業廃棄物以外の特別管理産業廃棄物は発生しておらず、再生利用はしていない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物（別紙のとおり）	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も現状維持とする。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 25 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物（別紙のとおり）	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物（別紙のとおり）	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 25 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物（別紙のとおり）	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物（別紙のとおり）	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成 25 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物（別紙のとおり）	
	全処理委託量	54.636 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	54.636 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	54.636 t	t
	（これまでに実施した取組） 管理規定の説明、廃棄物が処理される過程を十分に理解する機会（説明会）を設ける。 （運搬・収集、廃棄物を取扱っている業者、最終処分までの流れなどの知識が職員に浸透するような機会） また、その機会において廃棄物の処理及び清掃に関する法律などについて説明を行う。		

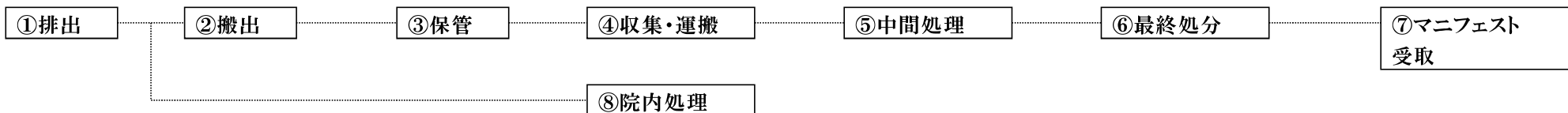
②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物（別紙のとおり）	
	全処理委託量	45.000 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	45.000 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	45.000 t	t
	<p>（今後実施する予定の取組）  院内から出る廃棄物の実態把握。  今後、年1度処理施設の確認を行う。</p>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

# 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程

平成 26 年度



## ①排出

責任者設置部署	取扱責任者	委託業者名
医局	部署責任者	大栄環境株式会社
外来	部署責任者	大栄環境株式会社
救急	部署責任者	大栄環境株式会社
検査室	部署責任者	大栄環境株式会社
放射線科	部署責任者	大栄環境株式会社
手術室	部署責任者	大栄環境株式会社
中央材料室	部署責任者	大栄環境株式会社
集中治療室	部署責任者	大栄環境株式会社
薬剤部	部署責任者	大栄環境株式会社
3F病棟	部署責任者	大栄環境株式会社
4F病棟	部署責任者	大栄環境株式会社
5F病棟	部署責任者	大栄環境株式会社
6F病棟	部署責任者	大栄環境株式会社
	感染管理 認定看護師	大栄環境株式会社

## ②搬出

## ③保管

指定廃棄物保管場所設置(鍵付)
感染性廃棄物—1階専用倉庫
非感染性廃棄物—1階専用倉庫

## ④収集・運搬(委託業者)

住所 大阪府和泉市テクノステージ二丁目3番28号
業者 大栄環境株式会社
兵庫県許可 第02855003203号
大阪府許可 第02750003203号
西宮市許可 第9953003203号
住所 大阪府大阪市西淀川区佃六丁目4番8号
業者 株式会社 共英メソナ
兵庫県許可 第02851002736号
大阪市許可 第6660002736号

## ⑤中間処理

兵庫県三木市口吉川町吉祥寺字谷124-7
業者 大栄環境株式会社
兵庫県許可 第02875003203号
兵庫県西宮市鳴尾浜二丁目17番1他5筆
業者 大栄環境株式会社
西宮市許可 第9973003203号

## ⑥最終処分(委託業者)

住所 兵庫県三木市口吉川町横字 横谷457番21外36筆
業者名 大栄環境株式会社 三木最終処分場第2
住所 大阪府和泉市平井町861番1ほか48筆の一部
業者名 大栄環境株式会社 平井最終処分場第5工区
住所 三重県伊賀市予野字鉢屋4713番地
業者名 三重中央開発株式会社
住所 大阪府大阪市此花区 北港緑地地先
業者名 大阪湾広域臨海環境整備センター「大阪沖処分場」
住所
業者名

## ⑦マニフェスト受取

事務部医事課で5年間保管する
----------------

住所 大阪府堺市西区築港新町1丁5番38及び3丁44番20
業者 株式会社GE
大阪府許可 第06770111723号
住所 大阪府大阪市西淀川区佃六丁目2番56号
業者 業者 株式会社 共英メソナ
大阪市許可 第6670002736号

# 感染性廃棄物の種類

## 1. 感染性廃棄物の処理の概要に関する事項

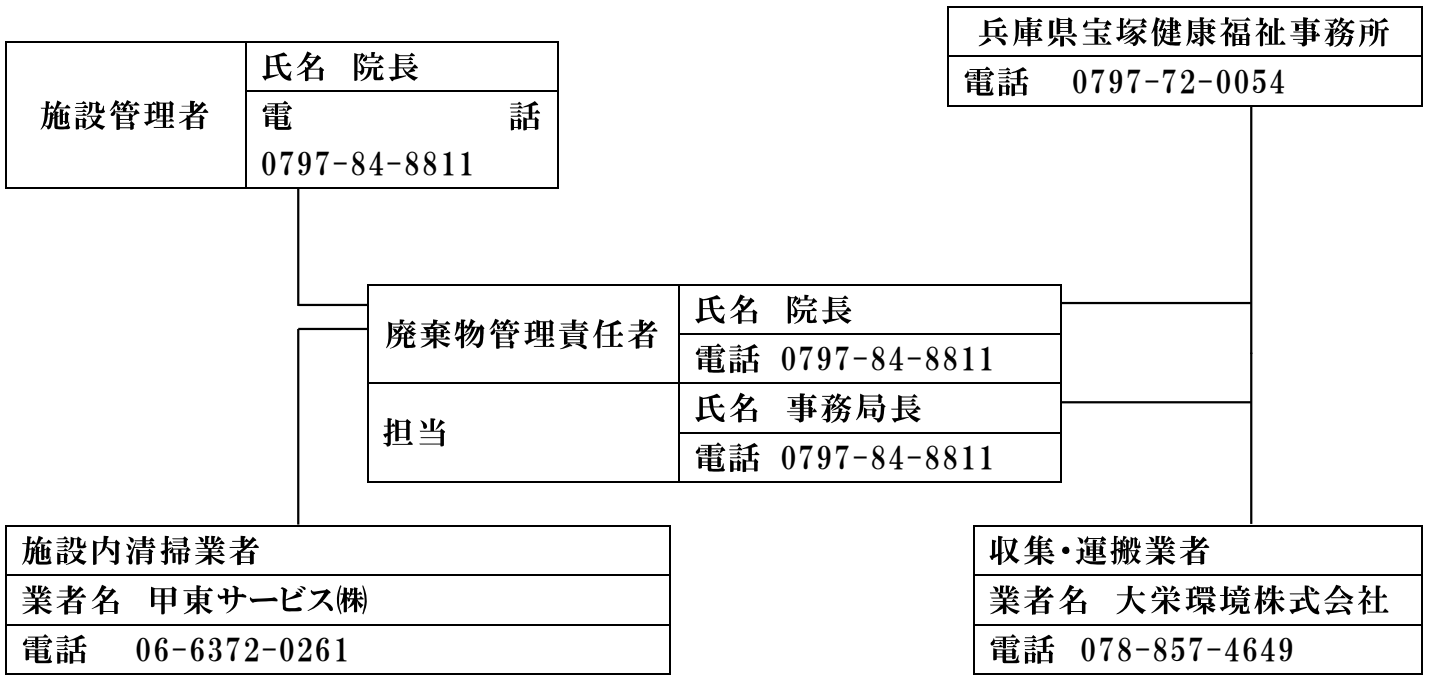
管理項目	処理状況					
	発生場所	廃棄物の種類				
感染性廃棄物の発生状況 (1ヶ月あたり)		血液等	手術に伴う病理廃棄物	血液が付着した鋭利物	その他血液が付着した物	汚染物若しくはそれらが付着した物
	病棟	1.5～2.0リットル (主に検査室)		5000～6000本	5000～6000本 (シリンジ) 6000本(チューブ類) 60kg(ガーゼ類)	随時
	診察処置室			1500～2000本 (注射針)		
	手術室		随時			
	検査室			200～250本 (注射針等)		
放射線科						
分別	液状又は泥状物(血液、組織等) 固形物状(血液付着ガーゼ、脱脂綿、包帯、血液付着注射筒、汚染物が付着した繊維屑等) 鋭利な物(注射針、輸液セット、メス等) ※臓器、組織については病理検査に供するため兵庫医科大学に搬送(専用容器にて) なお、病理組織が必要でない肢体等については「一部身体埋葬許可届」提出後、火葬する					
梱包及び表示	プラスチック容器(液状又は泥状)			バイオハザードマーク:赤		
	プラスチック容器(鋭利な物)			バイオハザードマーク:黄		
施設内中間処理	無					
委託業者名	院内収集	職員又は甲東サービス(株)				
	収集・運搬	大栄環境株式会社		許可番号兵庫県 第02855003203号 許可番号西宮市 第9953003203号 許可番号大阪府 第02750003203号		
	最終処分	大栄環境株式会社 三木最終処分場第2				
		大栄環境株式会社 平井最終処分場第5工区				
三重中央開発株式会社						
大阪湾広域臨海環境整備センター「大阪沖処分場」						

## 2. 非感染性廃棄物の処理の概要に関する事項

管理項目	処理状況	
	廃棄物の種類	
非感染性廃棄物の発生状況 (1ヶ月あたり)	燃え殻	汚泥 275 kg
	廃油	廃酸 kg
	廃アルカリ kg	廃プラスチック類 5.8415kg
	ガラス・陶磁器屑	金属屑
	ゴム屑	ばいじん
分別、梱包方法		
施設中間処理	無	
	院内清掃	甲東サービス(株)
	収集・運搬	海田工業(株)、大栄環境(株)、(有)福井浄水工業所、海栄(株)、アスト(株)、伊藤鋼業(株)、(有)川崎商店
	処分	大栄環境(株)、(株)GE、宝塚市クリーンセンター、(株)サニックス、三菱マテリアル(株)、(有)川崎商店



### 3. 緊急時の関係者への連絡体制



### 4. 保管方法に関する事項

#### (1) 使用する密閉容器等の材質

##### ①感染性廃棄物

	容器	容器
材質	プラスチック製	プラスチック製
容量	20 ㍓	50 ㍓
色	白色	白色
内容物	鋭利な物 (注射針、輸液セット、破損したガラス製品等)	

##### ②非感染性廃棄物

	可燃性廃棄物		不燃性廃棄物
	容器	容器	
材質	ビニール袋	ダンボール箱 60㍓	業者委託
容量			
色	黒色又は半透明		
内容物	固形状の物 (紙くず)	プラスチック類、鋭利でない物 (パック・トレイ等)	

#### (2) 保管場所略図

別紙 2号館西側(医局駐車場西端)

## 5. 収集運搬に関する事項

### (1) 感染性廃棄物の搬出予定

回数 毎日（日曜日除く）	計 313 回／年
排出量 479.233 ℓ／日	計 45.000 t／年

### (2) 非感染性廃棄物の搬出予定

回数 随時	
排出量 /月	計 /年

※非感染性廃棄物は感染性廃棄物として搬出しています。

## 6. 施設内滅菌処理に関する事項

処理方法	オートクレープ		EOGガス滅菌
方式	高圧蒸気滅菌		ガス滅菌
処理能力	27cm○カスト 24 缶		230リットル
温度	132度		55度
品目	デスポ製品以外		デスポ製品以外